



フロンティアクラブ会長
春原正三郎

会員の皆さまには、日頃より当会の運営にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。年末に入っても異常気象が続いておりますが、会員の皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

今年も村橋フロンティア奨学金授与式が開催され、9名の学生に授与され

箱根交流会を再開

ました。5頁から授与された学生の文章が掲載されています。生活困窮の学生が希望や夢をかなえるため涙ぐましく努力する様子が書かれていますので是非一読ください。

フロンティアサロンは、会員以外の遠隔地からの参加者も増え、当クラブの認知度も高まっています。また、今秋には箱根交流会が再開でき、「ゴルフ」や「テニス」、「山歩き・散策」と会員間の交流も深まりました。定時総会は来年2月17日(土)を予定していますのでよろしく願います。

円安、値上げなどで多くの企業は最高益を計上、日経平均もバブル時最高値に向いつつあります。健康で良い年を迎えられますよう祈念しております。



神奈川大学
フロンティアクラブ会報

第 40 号

発行日 2023年12月25日
編集・発行 神奈川大学フロンティアクラブ
組織・広報専門委員会
事務局 神奈川大学 総務部校友課内
〒221-8686
横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL.045-481-5661(代)
FAX.045-481-2741

予告 2024年度神奈川大学フロンティアクラブ定時総会 講演者の紹介

講演

神奈川大学発ベンチャーが創造する
新しい給食業界と教育の未来

【講演概要】 2020年5月、

新型コロナウイルス感染症拡大により大学が閉鎖される中、片桐教授は当時新入生であった佐々木さんから「先生の研究に興味があります」という連絡を受けました。それから3年後の2023年8月、神奈川大学発ベンチャー第1号となる「株式会社WelliFed」が立ち上がりました。WelliFedでは、片桐研究室で長年培ってきた技術力を基に、数理最適化・AI技術を活用した自動献立作成と出数予測を行うシステムのエンジンを開発・展開をしています。

今、給食業界は食材の価格高騰や人手不足による大きな問題を抱えています。「神奈川大学の研究成果を直接社会に届け、社会課題を解決したい」、「大学発ベンチャーを通じて、学生に新たな体験や学びを提供したい」という想いを胸に、WelliFedでは食を通じて子どもから大人までが笑顔になる社会の実現を目指しています。

(事務局)

【講師のプロフィール】

▽佐々木 啓斗さん 神奈川大学工学部経営工学科4年生。高校生の時にAースタートアップ企業へ長期インターンを経験。その後も、経営コンサルティング企業や、人材サービス大手、フリーランスを経験。株式会社WelliFedを2023年8月1日設立し、代表取締役社長に就任。

▽片桐 英樹教授 広島大学大学院准教授、統計数理研究所客員准教授、シカゴ大学ビジネススクール客員研究員を経て、2016年より神奈川大学工学部教授。株式会社WelliFed取締役副社長に就任。



称号記授与の様子。左から小原誠学長、佐々木啓斗さん、片桐英樹教授

「神大で学んで良かった」と 思われ続けるように

本年9月23日開催の理事会において常務理事（法人担当）に選任されました坂本郁夫です。私は1977（昭和52）年3月に神奈川大学工学部工業経営学科を卒業し、現時点までに評議員を4期12年、理事を2期6年務めさせていただきました。



学校法人神奈川大学
常務理事

坂本郁夫

研究室（人間工学）の指導教員である堀野先生でした。当時は第2次オイルショック直後であり、就職環境が厳しい中、堀野先生からの確かな3つのアドバイスをいただきました。

1つ目は、「大企業に就職し、小さな歯車になるより、自分が会社を動かせる中小企業が、やりがいがあること」、2つ目は「その分野でシニアの高い企業を選び、マーケットの中心に在ること」、3つ目は「20年後の社会がどう変わるかを想像し、そこに必要な会社に就職すること」でした。特に3つ目については研究室内で2日間議論し、私は高齢化というキーワードから選択した企業に就職することを決意しました。同様にこのアドバイスの基づき、研究室の多くの学生が、中小企業に就職しましたが、その後就職した企業が上場し役員となりました。

本学には堀野先生のように、学生に真摯に向き合い、的確な指導をされる先生方が多数いらっしゃいます。今後も学生の皆さんが、日々学修に向き合い、足元だけではなく、将来の社会を想像し、自

分のやりたいことを実現できる就職の機会を得ることを期待しています。

少子高齢化が一段と進み、18歳人口が激減する中、大学を取り巻く環境は厳しさを増している状況ですが、「産業界との共同研究」「デジタル社会を見据えたりキャリア教育」「地域社会との様々な連携」「グローバル化」「SDGs」など、多くの社会課題において、横浜、神奈川、その地の利を活かし、地域においても必要不可欠な大学を目指す所存です。

学生の皆さんが、卒業後、神奈川大学で学んで良かったと思える学園であり続けられるよう、常務理事として微力ではありますが努力して参ります。

母校を支援する志をもっておられる皆さまには、引き続きの厚い御支援を何とぞよろしくお願い申し上げます。

5年ぶりの開催「おかえりなさい、そしてようこそ」

5年ぶり、第29回ホームカミングデーが10月29日、約500人が参加し、横浜キャンパスの体育館で開かれました。

式典の冒頭、石渡卓理事長は「お

かえりなさい、そしてようこそお出でいただきホットしています」とあいさつし、陸上競技部の箱根駅伝2年ぶり本選出場や吹奏楽部の33回目金賞受賞など学生の活躍

ぶりを紹介。大学の近況報告を行うなかで、具体的な施策としてガバナンスの強化や財政の安定、ブランドディング力、デジタルトランスフォーメーションの推進を挙げま

した。

また、小熊誠学長は、みなとみらいキャンパスの開設や、理工再編により建築学部や情報学部の誕生など文系、理系合わせ11学部22

観光宮陵会が発足



お世話役の仲間



懇親会は久保清治宮陵会会長の乾杯の音頭で始まった

2020（令和2）年に国際日本学部が発足し、国際文化交流学科の中に、観光文化コースが設立されました。その1期生が24（令和6）年春に卒業します。21（令和3）年に完成した新しいみなど、みらいキャンパスで観光の学びを深めてきたおかげで、多くの観光関連産業へと進んでいきます。

観光業界で神大のプレゼンスを

国際日本学部 国際文化交流学科 島川 崇

実際に、観光関連産業には神大の先輩方が多く活躍されているにもかかわらず、今まで産業別の同窓会がなかったことで、お互いの力を結集することはできていませんでした。そこで、これを機会に観光業界内での神大のプレゼンスを高めていくことを目的として、観光宮陵会を立ち上げました。

12月9日（土）に設立総会を実施しました。その準備のために、世話役となるメンバーが集まって、この会の方向性について語り合いました。

旅行業、宿泊業、運輸業などの観光関連産業に従事される方はもちろん、自治体などで観光行政に携わった方、観光教育に携わった方、第2の人生でボランティアガイドをされている方など、皆さま歓迎いたします。これから年1回冬に集まって参りますので、是非ご参集ください。



石渡卓理事長



ロスガトスの演舞



小熊誠学長



フロイデコール・レジェンドによる校歌斉唱



神大グッズ販売コーナー



卒業生による藍染体験コーナー

学科1プログラムが横浜に集結したことなど、明るい未来に向けた発展する大学の様子を紹介しました。懇親会では久保清治宮陵会会長が大学のさらなる発展や参加者の健康を祝し乾杯の音頭をとりました。

会場では、フラメンコ部「ロスガトス」やチアリーディング部による演舞のほか、フロイデコール・レジェンドによる校歌斉唱もあり、にぎやかな懇親会となりました。藍染体験や神大オリジナル物販の販売コーナーなどもあり、参加者同士が思い思いに談笑する様子が見られました。

（事務局）

フロンティアクラブ会員紹介



坂本 憲志

1986(昭和61)年法学部法律学科卒

結果責任を受け入れ、次にどうすべきか

この度は、フロンティアクラブに入会させていただきありがとうございます。ごさいます。私の大学時代の思い出は、男声合唱団フロイデコールに尽きます。

福岡から出てきたばかりの私は、入学式のその日に多くの先輩方に取り囲まれ、フロイデコールに入団しました。フロイデでは多くの経験をさせていただきました。横浜3大学での男声合唱団ジョイン

トコンサートや女子大とのジョイントコンサート、神奈川県民ホールで毎年12月に行われていた日本フィルハーモニー交響楽団の横浜の第九への参加など、部活動を通じての経験は何物にも代え難いものでした。

大学卒業後、日本IBMに営業として入社しました。8年で日本オラクルへと転職、11年の勤務を経てアップルコンピュータに転職

しました。企業での勤務では、とても多くのことを学ばせてもらいました。

どのような環境であっても結果を残すために考え続け実行する力や、数字に対する厳しき、何より結果責任を受け入れ、次にどうすべきかを考える姿勢は私の人生に大きな影響を与えてくれたと感じています。

5年の勤務の後アップルジャパンを退職、コンサルティング会社であるストラコム株式会社を起業し14年になります。加えて2020年7月、株式会社JMCの代表取締役にも就任し現在に



熊切 雄三

2006(平成18)年工学部経営工学科卒

大学4年次に学生ベンチャー企業設立

皆さま、はじめまして熊切雄三と申します。1981(昭和56)年12月8日に横浜市の鶴見で生まれました。保育園は鶴見にある仏教徒の総持寺保育園で、(石原裕次郎の墓があることで有名です)毎朝7時から座禅を組み、お泊り保育では実際のお墓で肝試しを行ったのは、ぎりぎりトラウマにならない、とてもいい思い出となりました。小・中学校も地元横浜

で、高校も地元県立横浜翠嵐高校に通い、部活動は体を動かすのが大好きだったのでサッカー部に入っておりまして。つまり生まれも育ちもずっと横浜ということ、僕にとっては故郷であり、二浪し神奈川大学に入学し卒業させて頂いたことは人生の誇りです。さらには給費生として入学させて頂き、ご恩を感じておりまして、入学当初から日々勉学に集中させて頂き

ました。しっかりと給費生の責任を全うしたく2006年工学部経営工学科卒業の際に最優秀学生賞を頂いたことは、僕自身の大きな自信となりました。2005年在学中の4年生の時に学生ベンチャーとして有限会社を設立しました。大学横のアパートの一室で始め、神奈川大学生協さんが最初のお客様で、その頂いたお仕事で起業家人生をスタートしました。

僕にとって神奈川大学、横浜市、神奈川県は人生の基盤であり、故郷でもあります。これからしっかりと恩返し出来るように全力で努めて参ります。神奈川大学フロン

至ります。

私のこれまでの経験が、多くのOB、OGと母校や在校生をつなぐ架け橋の一助になれば幸いです。よろしくお願いいたします。



株式会社JMC
は1975年創業
で、教育機関や自

治体の教育委員会等へICT機器並びにサービスを提供しています。「あたりまえを超え、みらいを創る」のスローガンのもと、教育のみらいのために活動。



株式会社KII
J. 会社の設立段階のシードア

ーのステージの企業に投資を行う投資会社です。「世のため、人のため」を理念に掲げ、社会課題を本気で解決しようとする企業や起業家を支援し、経営支援やファイナンス支援を中心に上場にいたる成長もサポートしております。

ティアクラブの会員の皆さまとの交流やご指導を承りたく思います。どうぞよろしくお願い致します。

村橋・フロンティア奨学金

「村橋精神」に感謝

令和5年度村橋・フロンティア奨学生から寄せられた
お礼の言葉を紹介します。

経営学部 国際経営学科 2年
資格試験や語学力向上に挑戦

多くの志願者の中から私を選出していただき大変光栄に思うとともに、奨学生として恥ずかしくないように奨学金は勉学や経験に充てさせていただきます。

私は現在経営学部の2年生で、国内だけではなく国際分野も視野

に入れ学習をしています。幼い頃から海外に興味があり、将来は海外の商品を日本に輸入し、販売を行うバイヤーの仕事、また、日本に住む方々が気軽に海外に旅行に行ける環境づくりを提供する会社を作りたいと思っています。そのため現在、語学力の向上に取り組んでいます。

1年次は必修の外国語の授業に



今現在

村田 義郎

1984(昭和59)年経済学部経済学科卒

還暦野球は続けています

私は横浜市

根岸出身で、

現在は藤沢市

片瀬海岸に在

若い頃



住しています。社会貢献活動として、中学・高校・大学生への「ライフプラン授業」を行っており、母校にも貢献したいと思い支部会で相談した折、古川勝彦先輩より「それならばまずはフロンティアクラブに入会した方が良い」との

ことで入会しました。高校時代は硬式野球部に所属し、夏の県大会決勝では、原辰徳選手率いる東海大相模と対戦し完敗しました。浪人人生を過ごし神奈川大学に入学し、もう厳しい運動部には入るまいと決意し「動から静」の気持ちで、茶道研究部に入部しました。然しながら週2日の稽古でしたが、正座がとっても辛く、さらに夏合宿の1日10時間の

正座は、野球部の練習よりもつらかったのを覚えています。6月に清水茶会を鎌倉のお寺で開催し、前日に富士山の麓の清水をくみに行き、秋の学園祭では、学内に手作りの茶室を作るため、泊まり込みで作業をしました。当時、古典七派「華道・書道・箏曲(琴)・竹風(尺八)・詩吟・落研・茶道」というグループがあり、合同合宿やソフトボール大会などを行い、人脈が広がりました。また、関東や関西の大学の茶道部との交流も活発で、毎週日曜日は茶会巡りでした。茶道であれば年齢を重ねても出来ると思い始めましたが、現

加え、課外英語講座に取り組み、また、自主的に自宅でも資格試験に向けての勉強に励みました。そして現在は外国語の必修がないため、自分のペースで日々勉強に励んでいます。また、大学生のうちに多くの経験を積みたいと思っています。

両親は「人との出会いを大切にしないさい」と言います。人と出会い、一人一人を大切にすることで、もし自分が困ったときには手を貸してくれ良い方向に導いてくれる。こんな言葉を胸に今年の夏休みは四国で地方ボランティアに参加しました。都会とは違う環境で地域

在は膝が悪く正座が無理なので点てることは出来ませんが、飲むだけは大丈夫です。逆に現在も還暦野球は続けており生涯スポーツとして頑張っています。

業
企
紹

ソニー生命保険株式
会社、横浜ライフ
プランナーセンター

第2支社(〒220-8128
横浜市西区みなとみらい2-2-
1、横浜ランドマークタワー28
F、TEL 045-225-
0044)に勤務。ライフプラ
ンナー。SL2611-3580-
9608

を活性化させるためには何ができるのか、その土地の魅力を考え、発信していくためには何ができるのかを、地域住民と全国からきた学生たちと共に考えました。さまざまな価値観を持つ人々と出会い、会話できたことはとても良い経験になりました。

今後は資格試験を受け、より語学力を向上させて留学し、より多くのことに挑戦していきたいと思っています。自身のスキルアップのために奨学金を活用し、皆さまの期待に応えられるように、また、自分自身も後悔しないように努力します。

村橋・フロンティア奨学金

国際日本学部 歴史民俗学科 1年

地域の人とのつながりを大切に

多くの志願者の中から選んでいただき、大変光栄に思います。採用していただいたおかげで、これまで自分の中で感じていた多額の奨学金を借りていることからの将来への不安やプレッシャーなどといった心の負担が軽減され、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。奨学金は学費として使わせていただきます。

私の家庭は母子家庭ですが、私の母は今まで私を何不自由なく育ててくれました。私は母が自分の母親であることに本当に感謝しています。私が岡山からこの神奈川大学へ進学すると決めた時、何度も衝突しました。それに加え、私の家庭は私立大学への進学は難しい状況下でしたが、私の母はいつも私の意志を尊重してくれました。私はこの奨学生に採用されることで、多額の奨学金を借りることによる将来への不安がとても大きく、何度も進路に対して本当にこの選択で合っていたのか、また勉強と将来の奨学金返済のためのアルバイトの両立など、心身ともに苦しかったです。そのためこの奨学生の採用を聞き、とても安心しました。これまでの気持ちを入れ替え、

この大学に入学した本来の目的にも気づくことができ、本当に感謝しています。

将来の自分像としては、高等学校在学中にフェアトレード商品を用いて地域の人々と商品開発を行なったことがきっかけで、将来は地域の人々とのつながりを大切にしたい仕事に就きたいと考えています。目前の目標としては全ての単位をとることで、後期には徐々に自分が具体的にどのような職業に就きたいのか、授業やボランティア、アルバイトなどを通して将来の自分像を作り上げます。私は他の奨学生の方たちのように鮮明に将来の夢というものが決まっていませんが、どんな形であれ支援してくださった皆さまやこれまでお世話になった方々、そして母にこの恩が返せるよう、また村橋・フロンティアの奨学生として恥じないよう努めます。

経済学部 経済学科 1年

大学は人生の基盤づくり

数多くの志願者の中から選んでいただき、心より感謝申し上げます。奨学生の名に恥じないように、これまで以上に精進していく所存です。大学生となった今、改めてこれまで育ててくれた両親への感謝の思いが沸き上がってきました。

理学部 理学科 地球環境科学コース 1年

古生物の研究者を目指す

奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。ご支援いただいた皆様の期待に応えられるよう、また私自身の目標を達成できるよう、大学での学業に励んでいきたいと思っています。

私は遠方から大学へ通学しており、アルバイトなどをする時間もないため、少しでも家計の負担を減らせないかと考え、村橋・フロンティア奨学金に応募いたしました。いただいた奨学金は全額学費に使わせていただきます。

私は将来、古生物の研究をしたいと思っています。恐竜をはじめとする古生物はまだ明らかになっていないことも多く、とても魅力的で好奇心揺さぶられる存在です。海外だけでなく日本でも新たな発見がされており、復元図や習性も更新されています。

私は、目まぐるしく情報が更新される古生物に魅せられ、夢中になった子どもの一人でした。時間を忘れて調べていくうちに、実物をこの目で見たい、もっと

知りたいと思うようになりました。そして、大学で古生物を学びたい、研究したいと考えるようになったこと、私は古生物に出会ったことで、何かに夢中になる楽しさを知り、また将来の夢を持つことができました。古生物の研究を通して、少しでも多くの人々に古生物の魅力や、夢、何かに夢中になる楽しさも伝えられるような研究者になりたいと思っています。

私はこの目標を達成するために大学での勉学に全力で取り組み、大学院まで進学することを考えています。古生物を研究するにはさまざまな分野の知識が必要になります。そのためにも、関連する幅広い分野の講義を履修して日々の講義に集中して取り組み、多くの知識を身に付けていきたいと考えています。講義で疑問に思ったことは自分から進んで調べたり、質問をしにいたり積極的に学習していきたいと思っています。

最後に改めまして、奨学生に採用していただいたこと、心より感謝申し上げます。私を支えてくださっている全ての方々への感謝を忘れずに、大学での学業に励んでいきたいと思っています。

す。私には双子の弟がいます。その影響もあり、特に金銭面で両親には多くの苦勞をかけてしまったと感じています。しかしそんな苦勞を顔に出さず、時に優しく、時に厳しく、深い愛情を注いでくれた両親には大きな恩を感じています。今回奨学生に選んでいただいたことで、奨学金を大学の学費に充てることができるようになりました。両親を安心させ、自立した大学生活を送るために貴重な奨学金を使わせていただきます。

大学へ入学する前には、私には明確な目標というものがありませんでした。経済学部に入ったのも将来知識が役に立ちそうだったからという非常に曖昧なものです。しかし、大学のさまざまな講義を実際に受けてみて、自身の興味を掻き立てる分野が多くあることを知りました。これまで自分が生きてきた世界とはなんと狭いものだったことかと自身の無知を痛感しました。そして、私は「勉強とは未知を既知に変え、自身の考えを多角化、多様化する行為」であると考えようになりました。今では大学生活で多くの分野に触れ、自身の学びを深める過程の中で将来の夢を模索できたらなと思うております。私は大学生活というものは今後の人生で基盤となる体験

だと思っております。人生の中でも最も多感な時期であると言える大学生活において、いかにして多くの刺激をうけ、自身の経験として蓄積できるのか。そんな有意義な大学生活にしていこうと思っております。より一層勉学に励んでいきます。また、今後は「村橋・フロンティア奨学生」であるという自覚をもって日々の生活を過ごしていこうと思っております。

理学部 理学科 総合理学科 スー1年 知識を深め、輝く存在に

多くの志願者の中から採用していただけたこと、非常に光榮に思います。より多くのことに挑戦する機会を与えられたことにとても感謝しています。皆さまに支援していただいていることを胸に留めながら大学の授業はもちろん、さらに多くの学びを得て、人として成長していきたいと思えます。

いただいた奨学金は資格獲得のための勉強や教材費などに充てたいと思っております。私は母子家庭で母が学費や教材費を捻出してくれていますが、学び続けるためにかかってしまうお金の多さに多少の不安を覚えています。

一人暮らしをしているため、光熱費などの生活費は日本学生支援機構の貸与奨学金とアルバイトで

法学部 法律学科 2年 将来は公務員に

数多くの志願者の中から選出していただいたこと、大変嬉しく思います。

今回私がこちらの奨学金を申請させていただいたのは、大学進学による家庭の経済負担を減らすためです。

私の家は片親家庭のため、4年間の学費や生活費を親一人で賄うには、やはり不安が尽きませんでした。アルバイトで家庭の経済負担を少しでも減らそうと努力はしていますが、学業との両立が難しく、長時間働くことも厳しい状況です。

そんな中、村橋・フロンティア奨学金の奨学生に採用していただいたおかげで、アルバイトに明け暮れることなく、学業に専念することができています。また、できないかもしれないと思っていた課外活動にも取り組むことができている、充実した大学生活を送らせていただいております。

受給させていただいた奨学金は、主に大学生活における学費や教科書代、資格取得のための

教材代に活用させていただいています。資格に関しましては、受験や勉強にお金がかかるからとあきらめることなく取り組むことができている。

私は将来、公務員になりたいと考え、現在は、大学の公務員養成プログラムに参加し、少しずつですが、再来年の公務員試験受験を視野に入れ、勉強に取り組んでいます。まだ具体的な進路内容に関しては定まっていますが、地域役に立ち、住民の方が安心して生活できるような行政の一翼を担いたいと考えています。

そのためには、私自身がさまざまな経験をし、多様な考え方を育てる人間にならなければなりません。大学生活を通じて、神奈川大学という学びの場だからこそ得られる経験や知識をしっかりと吸収し、それを自分の糧とできるよう行動していきたいです。

今後は、村橋・フロンティア奨学生だという自覚と感謝を胸に学業に励み、少しでも支援していただいた方に恩返しできるよう大学生活を送っていききたいと思えます。

村橋・フロンティア奨学金

得たお金から捻出しています。この村橋・フロンティア奨学金をいただけることで、安心してこれまでに以上に勉強に集中できることを大変有り難く思います。

新たな知識に強い関心を持って、読むため、読書が好きです。幸いにも大学の図書館には多くの本があり、私の知的好奇心を満たしてくれています。しかし、図書館には無い本も読みたいと思った時、新たに本を買うにはお金がかかります。奨学金をいただいたことで少し余裕を持ち、さらに多くの知識を得られる環境に感謝しています。

将来の夢はまだまだ模索中です。何かを開発したり生み出したりする仕事に就きたいと思っており、今はひたすら知識を得て社会について知ろうとしている段階です。

総合理学コースでは、理学部の他のコースと比べ分野にとらわれず、さらに多くの分野について学ぶことができます。幅広くさまざまなことを学びたいと思っています。私にとって、このコースに入学したことは、なりたい自分に近づくには良い選択だと思っています。総合理学コースに所属していることを生かし、特定の分野にこだわらずさまざまなことを学び続けていこうと思っています。

今後も周りの支援があつて学び

たいことを学ぶ生活できていることに感謝を忘れずに、より一層自身が成長できるように学び続けたいです。

経済学部 経済学科 1年

留学もしてみたい

この度は、「村橋・フロンティア奨学生」に選んでいただいた、心より感謝申し上げます。

大学入学を機に、横浜での生活を始めました。慣れない家事や日々の細かな手続きなど、今まで全て両親にやってもらっていたことを、全部自分でしなければならぬ毎日戸惑うばかりでした。

私が中2の時に、父が悪性リンパ腫に罹患し、現在は寛解して仕事に復帰していますが、復帰の際に体調を考えて管理職から降格したため収入も大幅に減ったと聞いています。実家からの仕送りも限られた金額なので、学業に差し支えない程度にアルバイトもしていました。7月にコロナにかかってしまい、病院を探して診てもらいに行くのも、体調が悪い中で食事の準備や家事をするのも自分ではなければならず、大変心細かったです。アルバイト代も減ってしまい、体調管理の大切さを痛感しました。

落ち込んでいた私の元に、「村

人間科学部 人間科学科 2年
心理士になりたい

奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。多くの志願者の中から私を選出していただき、光栄に思います。私のこれまでの取り組みを評価して下さったこと、またこれからの活動にご期待下さったことは大変ありがたく、支援者様の温かい応援に応えられるようにより精進していく所存です。

私は将来、公認心理師および臨床心理士として、他者の心の健康を支援する心理師になることを志しております。私自身、小学校3年生の時に受けたいじめを契機に不安障害に罹患し、外出が困難で学校に通えない時期が続きました。しかし、母の勧めにより認知行動療法を独学で取り組み、高校入学時には日常生活に支障がない程度まで克服することができました。このような経験から、医療、福祉、教育分野など多岐にわたる視点から問題を抱える人々の心を支援する心理士になりたいと思うようになりました。また、将来的には現在学んでいる心理学の

知識と個人的な経験を融合させ、自身のカウンセリングルームを設立することを目指しています。

そのため、日々の大学の学習では、科学的に解明された心の仕組みや心理の働きに関する理解を深めるため、熱心に勉強に取り組んでおります。大学卒業後は大学院へ進学し、より実践的な応用心理学を学び、実習などを通じてスキルを磨いていく予定です。

本奨学金は、全額を学費に使用させていただく予定です。現在、学費や教材費などの学業にかかる費用は自身のアルバイト代と貸与型奨学金で捻出しています。しかしながら、さらなる学費の自己負担は厳しい状況です。また、両親ともに昨年再就職したため、両親からの学費の援助は厳しい状態にあります。したがって、この奨学金を今後の学費に充てさせていただきたいと考えております。

奨学生に選出していただいたことを心に留め、日々の学業に一層邁進してまいります。また、将来の夢を実現し、社会に貢献できるように努力することを約束いたします。

学生の活躍



Win-Win カレープロジェクトで「三浦かぼちゃカレー」が誕生

神奈川大学の学生が規格外野菜を使ったカレーを考案し、「三浦かぼちゃカレー」を誕生させました。

「農家さんのカレーを食べる人にも喜んでもらいたい」という思いから、神奈川大学経済学部学生21人がオリジナルレトルトカレーを開発する「Win-Win カレープロジェクト」に取り組み、10月8日、三浦半島の規格外かぼちゃを使用した『三浦かぼちゃカレー』の販売を開始しました。(2,000食限定)。この取り組みにより、約100kgの食品ロス削減が期待されます。

「Win-Win カレープロジェクト」とは、経済学部の学生が「作る人（農家の方々）、食べる人（消費者）の両者が笑顔になれるように」という気持ちを込めて名付けたもので、三浦市の規格外野菜を使用し、食品ロス削減や三浦半島エリアの地域活性化を目的に取り組んだものです。その成果が、「三浦かぼちゃカレー」となりました。

三浦かぼちゃカレーは、規格外の野菜の中でも追熟されたかぼちゃを使用しており、スパイスを入れる前に塩茹でし、味噌でコクを出していますので、かぼちゃの甘み、香りが引き立つ商品となっています。化学調味料、着色料、香料不使用、グルテンフリーの健康にも配慮した商品です。

お求めは「もったいない食材」のカレー化食品ロス問題の解決推進を図るMOTTAINAI BATON（株）のオンラインショップで。



※商品名の英語表記における「Curry」は、1747年に初めてイギリスの料理本にカレー料理が登場した際、「To make a Curry the India way」とタイトル表記されたことを基に、「curry」としてはな

橋・フロンティア奨学生」に選ばれたという知らせは、大変有り難く、学生支援の充実した神奈川大に入学できた事を嬉しく思いました。そして、コロナで自宅療養していた時に、大学で仲良くなった友達、自宅の玄関前に私を励ますメッセージと共に食料をドアノブにかけてくれていて、その心遣いが嬉しく、良き友を得たことが私の神奈川大での一番の財産になりました。

私は現在、経済学部で学んでいます。生活をしていくためにはお金が必要です。私は、世界には貧富の差があり、貧富の差をなくすにはお金が必要であると考えます。そのためには、世界の経済に着目して深く学びたいと思います。また、机上で考えるだけでなく、コロナが落ち着いた今、留学も

てみたいと考えていて、「村橋・フロンティア奨学金」は、留学費用にしたいと思っています。勉強に励める環境と良き友に囲まれ、私の横浜生活も充実したものになってきました。その環境に甘んじることなく、いつも「報恩、感謝、功徳」の精神を忘れず、次世代に繋げていける大人になれるよう精進したいと思っています。

工学部 経営工学科 1年
経営工学で本当に良かった

この度は奨学生に採用していただき嬉しく存じ上げますとともに心より感謝申し上げます。数多くの志願者がいる中で採用していただき、大変嬉しく思っております。奨学金はすべて学費として使わせていただきます。大学の学費を払ってくれ、受験時に私の進学を応援

援し予備校にも行かせてくれた家族の負担を減らせることを考えると大変嬉しく思っております。また、家から遠く通学しているため、通学代の負担も減らすことができたことと安心しております。

私は高校2年生の頃の文理選択の際、経営工学の学問に興味を持ちました。そこで、神奈川大学にあるさまざまな研究室に惹かれました。経営上の問題を理系の視点から解決し、管理技術を学ぶことは将来企業や会社などで必要とされる人材となると思っています。入学から前学期の授業を終えた現在、学んでみたかったことなどが実際にでき、経営工学の道に進んで本当に良かったと思うことができました。

授業では研究室の紹介や専門的な知識を学ぶことができました。生産システムや流通を管理し、人間の行動を研究し、問題解決などに務める人間工学などすべて興味がある研究室でした。私は、新しい技術やアイデアを組織内に導入し、サービスや新商品の開発、環境への影響を考慮した戦略の策定、予算管理やリスク管理などプロジェクトの全体を把握し、進行を管理する経営工学の知識を活用し多岐にわたるキャリアを築きたいです。また、資格を多く取って大学で学ぶこと以外の勉強にも挑戦していきたいです。将来、困っている人々に役立てるような人物となります。今後は「村橋・フロンティア奨学生」だという自覚を忘れずに行動し、常に感謝の気持ちと謙虚さを忘れずに自分を成長させようという大学生活を送っていききたいと思っています。



「駅伝ハーバー」〜神奈川大学限定パッケージ〜発売

神奈川大学×株式会社ありあけとの初のコラボレーションによるプラウドブルーのユニフォームと櫛がデザインされたオリジナル「駅伝ハーバー」が限定発売。12月13日(水)より、神奈川大学生活協同組合で先行発売開始、12月26日(火)より、ありあけ直営店(11店舗)及び一部駅販売店、ありあけオンラインショップで販売スタートします。



▲ありあけオンラインショップ HP

「PROUD BLUE」シリーズが調剤薬局で販売開始
ウインファーマグループが展開する調剤薬局やネットスーパーで、本学コスメティックブランド「PROUD BLUE」シリーズが11月10日(金)より販売開始。以前より消費者の皆さまから「実店舗で取り扱ってほしい」と多くの声をいただいております。今回の取り組みによりその期待に応えることが可能となります。企業名…有会社ウインファーマ(代表取締役…藤田勝久／1974(昭和49)年工学部卒)本社所在地…〒223-0062 神奈川県横浜市港北区日吉本町

1丁目28番7号
企業概要…神奈川県を中心に提携グループ法人含め62店舗の調剤薬局事業を展開。地元の方々とのコミュニケーションを重視し、OCT医薬品販売にも注力。



▲企業 HP



「PROUD BLUE」シリーズが調剤薬局で販売開始

事務局からのお知らせ

メールアドレスの収集について

フロンティアクラブで郵送している各案内資料や卒業生の活躍、大学の情報などを会員の皆さまにメールで、いち早くお届けしたいと考えています。そのため、メールアドレスの収集にご協力をお願いいたします。メールをお使いの方は、以下まで氏名をご記入の上、お送りください。また、メールアドレスをご変更された場合にも、お知らせいただきますようお願いいたします。

【メールアドレス】

kufc-frontier
@kanagawa-u.ac.jp

村橋・フロンティア奨学金 募集のお願い

「村橋・フロンティア奨学金」は、「学業・人物ともに優れながら経済的な理由により修学が困難な学生」を支援することを目的としており、母校における重要な学生支援制度の一つです。今回、お届けした奨学生の感謝の言葉が心に響きます。今後も皆さまからのご寄付など温かいご協力を賜りますようお願いいたします。

ご寄付の詳細につきましては、同封の「村橋・フロンティア奨学金」へのご寄付のお願いと「募金事業だより」をご確認ください。りますのでご期待ください。

2024年度神奈川大学フロンティアクラブ 定時総会の開催について

開催日時：2024年2月17日(土) 14時より

開催場所：みなとみらいキャンパス 4F
米田吉盛記念講堂

【当日のスケジュール】

I部 総会

- 2023年度事業報告及び決算
- 2023年度委員会報告
- 2024年度事業計画(案)
- 2024年度予算(案)
- 役員の改選
- 大学の現況について

石渡 卓理事長、小熊 誠学長

II部 講演会

テーマ「神奈川大学発ベンチャーが創造する新しい給食業界と教育の未来」

講師 佐々木 啓斗さん(神奈川大学工学部経営工学科4年生)

片桐 英雄教授(神奈川大学工学部)

III部 懇親会(みなとみらいキャンパス21階)